市政記者各位

令和7年3月 26 日
港 湾 空 港 局

「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」
令和6年度クレジット販売　実績報告

この度、令和 6 年 10 月 1 日～令和 6 年 12 月 13 日に販売したブルーカーボン・クレジットについて、カーボン・オフセット認証を行いましたので、お知らせいたします。

【販売クレジット数量】

37.7 t-CO_2　**完売**

販売収益（331,760 円、税込）は
「博多湾 NEXT 会議」でのアマモ場づくり活動をはじめ、博多湾の環境保全創造の取組みに活用しています。

【カーボン・オフセット認証実績】

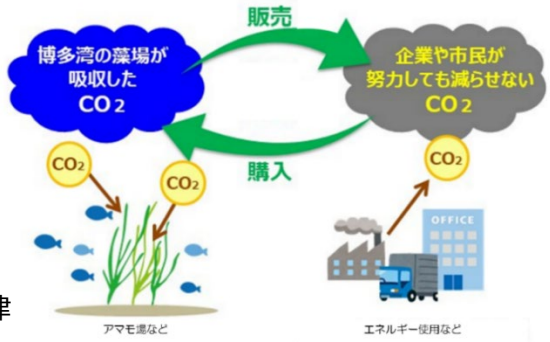
	件数	数量（t-CO_2）
団体	11	36.7
個人	3	1.0
合計	14	37.7

◆クレジットは、ご購入いただいた方の「オフィスのエネルギー使用、ガソリン使用」などで排出される CO_2 排出量のオフセットに活用されています。

市ホームページ

福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度

アマモ場など、博多湾の藻場による CO_2 の吸収・固定量をクレジット化※1 し、そのクレジットを企業や市民に購入していただくことで、**博多湾の環境保全活動の推進を目指す制度**です。



※1 クレジット化：温室効果ガス削減・吸収量を、決められた方法に従って数値化し取引可能な形態にすること。
※2 本制度のクレジットは、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）やエネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）に基づく報告には活用できません。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

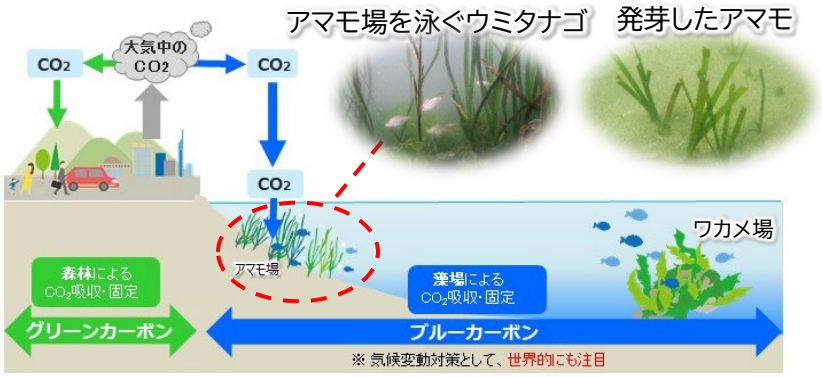
2015 年の国連総会で採択された持続可能な世界を実現させるための2030 年までの国際目標です。本制度は、SDGs を支援しています。

＜問い合わせ先＞
港湾空港局港湾計画部 みなと環境政策課
担当：上尾（うえお）、江渕
電話：092-282-7153

【アマモ場の役割】

アマモは、地下茎や種子で増える海の中の植物「海草」です。

アマモ場は”海のゆりかご”と呼ばれ、魚のすみかや産卵場所として海域の生物多様性保全において重要なだけでなく、近年は二酸化炭素の吸収・固定に寄与する”ブルーカーボン生態系“としても注目されています。



令和6年度にクレジットをご購入いただいた団体（公表希望団体のみ掲載）

・株式会社 SNC
・株式会社シーゲートコーポレーション
・一般財団法人福岡コンベンションセンター
・株式会社東京久栄 九州支店
・博多湾環境整備株式会社
・エコワークス株式会社
・一般財団法人九州環境管理協会
・公益財団法人ふくおか環境財団
・株式会社ピエトロ
・あおみ・宮川特定建設工事共同企業体

（順不同、敬称略）

クレジットの販売収益は、博多湾でのアマモ場づくり活動に活用しています！

クレジットの販売収益を活用して、令和6年度は、志賀島や西戸崎の海岸でアマモの種を海に投げ入れてアマモを増やす活動や、小学校の環境学習でアマモポット苗を育てる活動などを実施しました。

アマモの種を海に投入

アマモの種を寒天団子で包んで海に投げ入れます。

小学校の環境学習

小学生が育てたアマモポット苗

【ふくおか応援寄付でアマモ場づくりを応援】

ふくおか応援寄付（福岡市ふるさと納税）でもアマモ場づくりを応援することができます。寄付の使い道として、『豊かな博多湾を次世代につなぐ「海のゆりかご」アマモ場づくり』を選択することで、アマモ場づくりなど、博多湾の環境保全創造の取組みを応援することができます。

※詳細はふくおか応援寄付ホームページをご覧ください。